

令和5年特別展

小坂奇石展

東洋芸術の根幹 線と余白の美

12月10日（日）～12月24日（日）月曜日休館

開館時間 午前10時～午後4時

奉賛料 三百円

会場 法樂寺リーヴスギャラリー小坂奇石記念館

山光澄我心

小坂奇石





「神爽」(80 歳)



「漁父 四首其二」(82 歳)



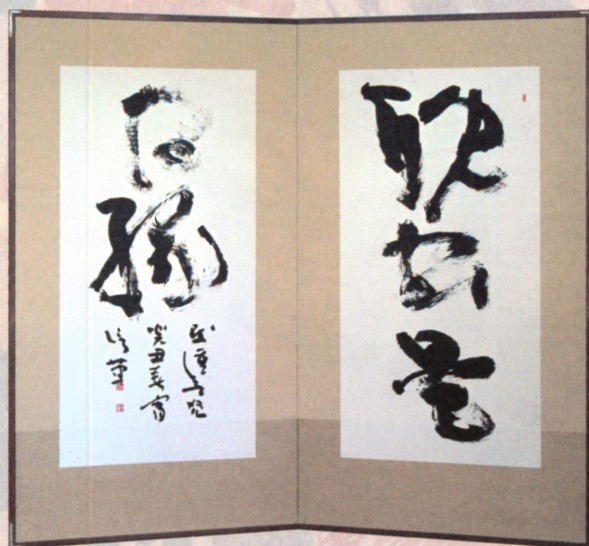
徳島県海部郡由岐町(現美波町)生まれ。
本名光太郎。黒木拝石氏に師事し、二十七
歳で上阪。一九八一年八十歳の時、書家とし
て初めての日本芸術院賞恩賜賞を受賞した
昭和を代表する書家。

「私は叩いて音の出ない線はダメだと思っている」
自らを「線の行者」と称し、線質の追求に苦行を重ね、
日本書壇の中で独自の境地を拓いた小坂奇石。
その奇石が選んだことばの数々は、高い精神性と技術の
もと、線質や余白など様々な美の要素をもつて具現化さ
れ、響き合い、味わい深い旋律を奏でています。
今回は新しくご寄贈いただいた作品を含め、約四十点
をご紹介します。

ことばと書の響きから奇石の体温、息づかいを感じてく
ださい。

監修 砂田円

小坂奇石(一九〇一〜一九九二)



「書に耽る是れ宿縁なり」(72 歳)



【アクセス】

JR 阪和線 南田辺駅下車 徒歩 5 分

Osaka Metro 谷町線 田辺駅下車 徒歩 7 分

【お問い合わせ】

法樂寺リーヴスギャラリー小坂奇石記念館

〒546-0035 大阪市東住吉区山坂 1-18-30

TEL 06 - 6626 - 2805



法樂寺ホームページ



facebook